

令和3年度

第3回公民館運営審議会議事録

令和3年12月10日開催

令和4年1月14日承認

令和3年度 第3回公民館運営審議会会議録（議事要旨）

- 1 開催日時 令和3年12月10日（金） 午後2時～3時40分
- 2 開催場所 高洲公民館 大集会室
- 3 出席者
（委員）
勝田委員長、柗委員、岡本委員、大川委員、谷口委員、渡邊委員、阿部委員、
松浦委員、林委員、永田委員
（事務局）
教育長、生涯学習部長、生涯学習部次長
高洲公民館長、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、
当代島公民館長、日の出公民館長、
- 4 傍聴人 なし
- 5 次 第
 - I 開会
 1. 委員長あいさつ
 2. 教育長あいさつ
 - II 議 題
 1. 報告事項
 - (1) 令和3年度公民館主催事業（4月～9月）実施状況について
 2. 審議事項
 - (1) 令和3年度公民館主催事業開催計画（1月～3月）について
 - III その他
 1. 家庭教育講演会の開催について
 2. 公民館研修の開催について

6 協議概要及び会議経過

1. 報告事項

(1) 令和3年度公民館主催事業（4月～9月）実施状況について

概要については、資料をもって説明とした。委員からの主な意見・質問などは、以下のとおり

委員 有意義な講座が出てきたので、今後も継続してほしい。

委員 公民館のワクチン接種会場となるなど施設状況の正確な情報が入ってこなかったため、団体の活動も安定せず不安だった。

事務局 今後、3回目の新型コロナワクチン接種会場として公民館は使用しない。日の出公民館の駐車場にプレハブを建てて接種を開催する予定。文化会館はそのまま使用し、医療機関での接種を充実させるようである。公民館は通常どおりの使用となる予定である。

委員 今までは高齢者向けの講座は「おたっしや体操」しかできていなかったが、これからはいろいろと組まれているようでうれしい限りである。みんなが集まってお茶を飲むといったコミュニティがとれる事業もあるといい。

事務局 現在、公民館の利用制限もだいぶ緩和されてきたが、飲食については黙食となっている。公民館は本来、皆さんで集まっていたところではあるが、まだまだ利用について制限せざるを得ない状況にあることをご理解いただきたい。

委員 働いている母親は公民館での活動内容を知らない方もいるので、魅力のある保育付きの講座を設けてほしい。

委員 公民館が主催事業として講座を行っていることを知らない人が多いと思われる。

委員 学習室の利用はコロナの影響で減っているか。また、お子さんたちがどのように利用しているか聞きたい。

事務局 席は4㎡距離を保った利用とし、席数を減らしている。各館によって学習室などの使用は異なると思うが、学習室以外でも学習できるスペースを設けている。

また、9月の休館中も学習スペースを提供し、多くの方に利用していただいた。

委員 学習室の定員は何名くらいなのか。また、実施した事業は対面かオンラインも含まれているか。

事務局 オンラインは全館で5講座を実施した。オンラインでの講座を増やしていきたいが、公民館に環境が整っていない。予算的にも難しい状況である。

公民館施設の仕様が施設によって異なるため、定員については、4㎡距離を保った利用としている。

事務局 当代島公民館には学習室がないが、フロアの一角にコーナーとして設置している。4テーブルで4名が利用できる。人数が増えた場合は、テーブルを追加するなどの対応をしている。

日の出公民館は、定員20名のところ現在は4席とロビーにテーブルを設置している。オンライン講座のほか、密にならないように屋外での事業もはじめて行った。

委員 コロナ以来、一気にデジタル化やオンラインを使う講座の必要性が高まったら、すぐに公民館の講座もその方向にシフトされ、子どもから高齢者まで多様な講座が網羅されていて感動している。部屋の定員について、大人も赤ちゃんも1名として一律にカウントするのではなく、サークルの事情により個別対応はできないか。

事務局 市の対応として、年齢に関係なく一律に1名としてカウントしている。新型コロナウイルスの感染状況が改善するまでは利用人数の制限についてお待ちいただきたい。

委員 主催事業に参加して友達ができたりするが、中止になっていることで出会いもなくなっている。

子育てが一段落すると仕事を始める方も多いが、そうなると平日の主催事業に参加ができない。土日を活用した主催事業であれば、働いている方など広く公民館を知ってもらえるのではないか。

事務局 土日だけでなく、春・夏・冬休みを活用することも基本体系の一つとして意識している。コロナの影響から制限されることも多く、講座が少なく感じることもあると思うがより工夫をしていきたい。

委員 欠席委員からの意見を代読。

舞台女優の方のオンライン講座について。演劇やディベートなど自身を表現するようなプログラムは海外では授業にも取り込まれ、子どもたちの成長のための一役を担っていると聞きます。帰国子女も多くグローバルな環境の浦安ですが、教育現場でそうした取り組みが少ないように感じているので、公民館で主催していただけるのはありがたく思いました。

気になったのは、年中から小学2年生という幼い子どもたちが対象で、もう少し年長の子どもたちを対象としてほしいなと感じました。

浦安市の子どもたちは塾や習い事で忙しく、年齢が高くなるにつれ、事業に参加しにくい環境なので対象の低年齢化もやむを得ないことだとは思いますが、また、公民館に限らずイベントの参加は親の教育熱心さによるところが大きく、本当に興味を持ち、参加したいと思っている子どもたちに主催事業の情報が届いていないのではないかと、という懸念を抱いています。事業に参加するのはいつも同じ子ばかりです。

共益性があるはずの公民館主催事業ですが、恩恵を受けているのは

実は教育熱心な親を持つ一部の子もだけなのではと感じています。私の関わっている事業でも今同じようなジレンマを抱えています。公民館事業は、参加費もリーズナブルなので、習い事よりも保護者の負担が少ないと思います。できるだけ多くの子もに参加してほしい。子ども時代しかできない充実した体験をしてほしいです。忙しい保護者にかわって学童の先生や地域の支援者などが子どもたちそれぞれにフィットした事業をマッチングする取り組みがあったらよいのかな、などと考えはじめたところです。

委員 この講座は、オンラインの講座として実施した。オンラインの講座には、受講生が集まって講師とつながる方法や、受講生が自宅からそれぞれつながる方法などいろいろある。この講座は、後者の方法で初の試みとして実施した。浦安市内の小中学校では、タブレットが1人1台の環境が整い、機器の使い方に家庭内でのルール付けが課題となってくる時期に、保護者の方も一緒に取り組んでいただくような企画とした。今後は、高学年や中学生を対象とした事業も考えていきたい。

委員 高洲公民館の「浦教研の日」の事業はネーミングがとても良い。浦教研は、年6回程度水曜日の午後に開かれ下校時間が早い。その日は子どもたちも塾や習い事を入れずに自由な時間として捉え、楽しみにしているので、ぜひ浦教研の日に事業を続けていってほしい。

委員 ルネサンスの新聞折り込みも中止となり、公民館事業は市民に浸透していない。財政的なことも理解できるがぜひ復活させてほしい。

事務局 ルネサンスについて、新聞を購読する家庭が減っている傾向があり、ルネサンスの新聞折り込みを廃止とした。公民館に関わる情報紙として、発行は年2回、市役所、行政サービスセンター、各公民館に配架している。データ版は、ホームページやまなびネットに掲載している。主催事業の周知方法については、3ヶ月ごとに「主催事業のお知らせ」として、データ版をホームページやまなびネットで掲載している。また、紙媒体を各公民館に配架している。

委員 現状で高齢者がインターネットを活用しているのは1割に満たないと思われる。形だけ整えてOKというように見えるので実態を把握してほしい。自治会連合会を通じて各地区の回覧板もできるので、検討してほしい。

2. 審議事項

(1) 令和3年度公民館主催事業（1月～3月）開催計画について

令和4年1月から3月に開催を計画している主催事業について、各館長より説明を行った。委員からの主な意見・質問などは、以下のとおり

- 委員 バラエティに富んでいて素晴らしいと思う。
特に、富岡公民館の「老後の資金を考える」という講座に注目している。他の公民館でも実施してほしい。また、日の出公民館の「地域の防災力を高めよう」の講座を地道に行っていただき、防災意識を高める必要があると思う。
- 委員 市の道路管理課より提案があり、共催することとなったものである。
- 委員 中央公民館の事業に参加したいと思っても、私が住んでいる場所から遠く、自家用車にしても駐車場が少なく、受講できずに残念である。駐車台数を増やすか他の地域でも実施してほしい。また、60才以上の講座は、60才前の世代には微妙な年齢である。
- 委員 中央公民館の駐車台数は17台である。不正利用の監視なども行い確保に努めているが、敷地的にも台数を増やすことは困難である。年齢については、応募状況により柔軟に対応する。
- 事務局 人気が高い講座などは、他の公民館でも実施したいと考えている。しかし、同じ内容の講座をそのまま実施するのではなく、各公民館に受講者が集まり、7館をオンラインでつないでの講座をやるなど工夫もしていきたい。現在、Wi-Fi環境が整っていないことが課題である。環境整備についても公民館としては改善できるよう努力し、実施していきたい。
- 委員 中央公民館の講座は、高齢者にとって興味をそそられる講座が多く期待している。また、毎年、自治会で防災訓練が行われるが、もっと防災に関して詳しく知りたいこともあると思われる。
- 事務局 健康や体力づくりの講座は、了徳寺大学の協力を得て実施している。今後もより魅力ある講座を工夫していきたい。
- 委員 各公民館が強みを生かした独自の事業を続けてほしい。
新規事業はどのように企画されているのか伺いたい。
- 事務局 企画はすべて職員が行っている。市役所の関係機関との連携や、中央公民館で了徳寺大学の協力をいただいているようにNPO法人や市民団体・市民サークルの協力のもとで実施している。
公民館は、社会教育を目的とした施設であることから、地域につながる事業が必要であると考えます。本日、お配りした「公民館要覧」の57ページに記載している重点取組や58ページにある基本体系をもとに主催事業を企画している。
- 委員 公民館それぞれにカラーがでていて面白いと思う。
「うたごえサロン」や「うたごえ広場」などの発声する講座でのマスクはどうしているか。

- 事務局 公民館内はマスクの着用となっている。発声する講座だけでなく、運動やダンスのサークルなどもマスクを着用してご利用いただいている。
- 委員 美浜公民館や日の出公民館のコンサート企画について、演奏家たちは、コロナの影響で演奏する場が減っており、市民も演奏を聴く機会が減っている。近くで音楽を聴くことができることは素晴らしいことであり、演奏する側も市民の側も双方にプラスとなるような企画をお願いしたい。
- 委員 講座を中止せざるを得ない場合の基準を教えてください。
また、スマートフォンの講座において、WEB版のルネサンスの検索をして、実際に申し込むところまで紹介していただけたら、高齢者の方もWEBに慣れてくるのではないかと。
- 事務局 主催事業の中止は、浦安市新型コロナウイルス感染症対策本部の会議により決定される。感染状況に応じて安全を重視して判断されている。
公民館では、会議の決定を受け中止や延期などを決定してきた。
高齢者向けスマートフォン講座においては、まなびネットの使い方なども取り入れてもらうように講師と調整していく。
館によって、スマートフォン講座の講師がさまざまであるが、各館ともに調整をしていく。
- 委員 当代島公民館の「浦安ユーチューバーと動画をとりよう」や「“情報”をジャーナリストに聞いてみよう」など情報の取扱いについて取り組まれているように感じた。どのような工夫をされているか。また、苦勞などあるのか。新しいテーマなので教えてください。
また、高洲公民館の「緑化講習会」、日の出公民館の「地域の防災力を高めよう」、当代島公民館の「パートナーシップ制度スタート」など行政の部署とサービスを受ける市民と一緒に地域を良くしようとする事業は良いことだと思う。行政部署との共催が増えているようだが考えを教えてください。
- 事務局 「浦安ユーチューバーと動画をとりよう」については、市民活動団体が講師となって進めている。「“情報”をジャーナリストに聞いてみよう」については、以前に講師をお願いした方やその方からの紹介などで関係をつなげ、講師をお願いしている。今後の情報化社会において、SNSなどの情報化における危険性を踏まえながらの講義を行う予定。
3館に共通していることは、公民館は地域とつながっていきたいという目的があり、場所の提供だけでなく一緒に目的を達成できる企画があるのではないかと考えた。市役所の中の部署としては、

市民と接する機会を作りたいという考えがあり、公民館としては、その部署の事業を市民の方に知ってほしいと考え、一緒に行く共催という形となった。

委員 市民としては、常に行政サービスを受け、一方的に要求するだけでなく、一緒にどうやったらより良い市民生活が送れるかということを考える際、公民館が集いの場であることからこれからもいろいろな切り口で事業を行ってほしい。

委員 スマートフォン講座がうまくいくのであれば、ZOOMやオンラインの講座も引き続き行っていけば、高齢者も使用できるようになっていくのではないかと。民間がやる講座を公民館が行うことで安心して受講できると思う。

また、子育て期にある成人への取組みとして40代・50代の受けたい講座が多くあると公民館に足を向ける回数が増えてくると思う。公民館で趣味を見つけられたらありがたいことなので、広げて行ってほしい。

委員 欠席委員からの意見を代読。

1月～3月の主催事業は各公民館個性的で興味をひく講座が目白押しでした。

堀江公民館3の人権講座は性の多様性にも対応しており、多くの方に関心を持ってほしいテーマだと感じました。

当代島公民館5の子育て応援講座は市内の子どもたちの「孤食」を心配し、取り組まれている子ども食堂の方の発表もありぜひ参加したく思います。

事務局 人権講座について、オリンピックで多様性が高まるきっかけとなった。そこで、千葉県の人権問題研究会支援事業の担当講師であり、浦安市で開業されている「あべメンタルクリニック」院長阿部輝夫先生に講演をお願いしました。

3. その他

(1) 家庭教育講演会の開催について

(2) 公民館研修の開催について

高洲公民館長からそれぞれ開催概要について説明を行った。

以上で令和3年度 第3回浦安市公民館運営審議会は閉会した。